

2006

6月号

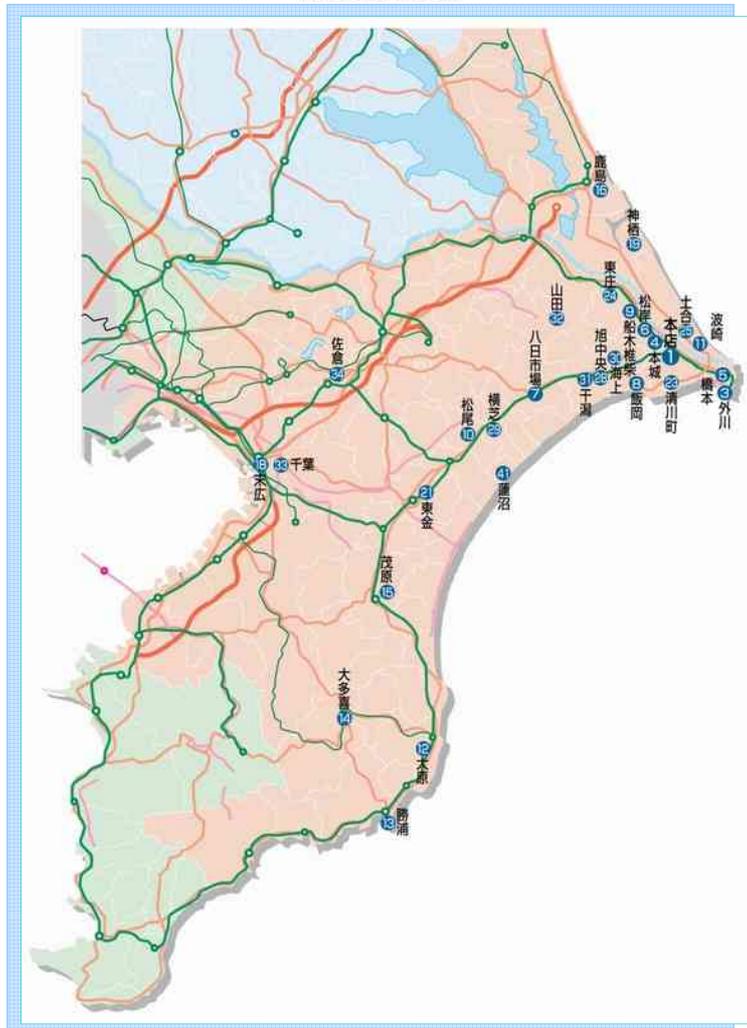
ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



Face to Face



特集 第124回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	2	26	1
今後3か月程度の見通し	4	25	0

【漁業】

銚子港当月の総水揚げ数量は19,568トン、前年同月比+1,302トンとなった。水揚げ金額は2,084百万円で、前年同月比+12百万円となった。当月は前月に比べ、イワシの水揚げ数量・金額が大きく減少したが、サバ及びカツオ・マグロの水揚げ数量・金額が大きく増加し、前月から水揚げ数量は約1割程度減少したものの、水揚げ金額は約2割程度増加した。

【農業】

銚子地区のキャベツ・ダイコンは、平年並みに気温が上がらず、生育の遅れにより、出荷量は例年の8割程度となった。キャベツの相場は前月と比べ、約3割程度の減少となった。ダイコンの相場は前月と比べ約2割程度低下したが、当月末には前月末と同程度の相場に回復した地域も見受けられた。

【商業】

銚子駅前商店街において、みやげ物店・飲食店の売上は前年同月と比べやや増加した。これはゴールデンウィーク中の観光客によるものであり、依然として十字屋銚子店の閉店の影響により来店客数・売上は減少傾向にある。

【建設業】

公共工事の受注は依然として少なく厳しい状況が続いている。民間工事においては、住宅需要が出てきている地域も見受けられた。

【観光業】

銚子地区のホテル・旅館は、ゴールデンウィーク期間中の人出は前年並であり、連休中の売上はほぼ順調であった。しかし当月は団体客の減少が見受けられたところが多数あり、宿泊客は高齢夫婦の二人連れが多く、一部屋あたりの客単価が低いため、採算面において厳しい状況である。また、燃料費の値上がりによる収益の圧迫も、依然として続いている。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
				
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車
				

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



2. 主要業種別動向

漁業・水産加工業

銚子港当月の総水揚数量は19,568トン、前年同月比+1,302トンとなった。水揚金額は2,084百万円で、前年同月比+12百万円となった。当月は前月に比べ、イワシの水揚数量・金額が大きく減少したが、サバ及びカツオ・マグロの水揚数量・金額が大きく増加し、前月から水揚数量は約1割程度減少したものの、水揚金額は約2割程度増加した。

波崎港の総水揚数量は8,730トンで、前年同月比 2,924トンとなった。水揚金額は379百万円で、前年同月比 76百万円となった。前月から水揚数量は約4割程度減少したが、水揚金額はほぼ横這いであった。

勝浦港の総水揚数量は6,212トンで、前年同月比 945トンであった。水揚金額は2,916百万円で、前年同月比+988百万円となった。前月から水揚数量は約3倍程度、金額は約2.5倍程度と大幅に増加し、特にマグロの水揚が数量・金額に大きく貢献した。

水産加工業は、サバ加工製品の販売が依然として低迷している。解凍サンマを取扱う業者は、大型サンマを主力に出荷しており、大型サンマは在庫不足の傾向となっている。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

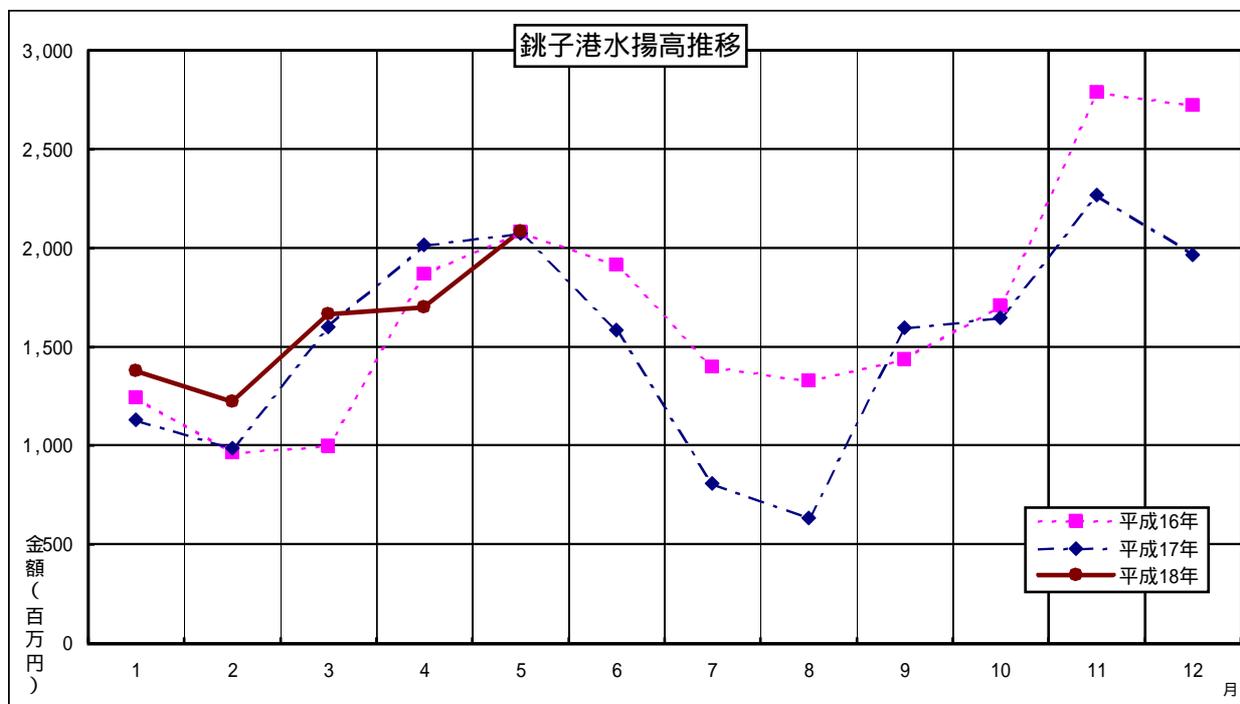
種類	区分	数量(トン)			金額(千円)		
		H18年5月	H17年5月	前年同月比	H18年5月	H17年5月	前年同月比
鰯		4,723	4,380	343	156,748	341,174	184,426
鯖		11,479	9,754	1,725	511,443	289,176	222,267
鰯		866	102	764	96,113	3,271	92,842
鰹・鮪		2,182	3,765	1,583	1,053,204	1,214,730	161,526
(内鰹一本釣)		71	275	204	35,197	64,325	29,128
秋刀魚		0	0	0	0	0	0
底曳		159	153	6	105,676	102,449	3,227
その他		159	112	47	161,528	121,115	40,413
合計		19,568	18,266	1,302	2,084,712	2,071,915	12,797

前月比	数量	88.01%
	金額	122.69%
前年同月比	数量	107.13%
	金額	100.62%

水揚日数



	H18年5月	H18年4月	前年同月
鰯	21日	16日	17日
鯖	16日	13日	10日
鰯	4日	9日	2日
鰹・鮪	23日	17日	23日
(内鰹一本釣)	5日	0日	4日
秋刀魚	0日	0日	0日
底曳	20日	20日	17日
その他	25日	23日	24日



農 業

銚子地区のキャベツ・ダイコンは、平年並みに気温が上がらず、生育の遅れにより、出荷量は例年の8割程度となった。キャベツの相場は前月と比べ、約3割程度の減少となった。ダイコンの相場は前月と比べ約2割程度低下したが、当月末には前月末と同程度の相場に回復した地域も見受けられた。

波崎地区のピーマンは、前年同月と比べ出荷量が3割程度減少となった。価格は上旬60円～62円、中旬66円、下旬は67円～70円で推移した。

海上地区のマッシュルームは、1パック(100g)80円～100円程度(前月は90円～110円)の価格で取引された。

飯岡地区ではイチゴの出荷が終了し、メロンの出荷準備がすすめられているが、昨年より苗つけ数が少なく、高値相場が予想される。

商 業

銚子駅前商店街において、みやげ物店・飲食店の売上は前年同月と比べやや増加した。これはゴールデンウィーク中の観光客によるものであり、依然として十字屋銚子店の閉店の影響により来店客数・売上は減少傾向にある。

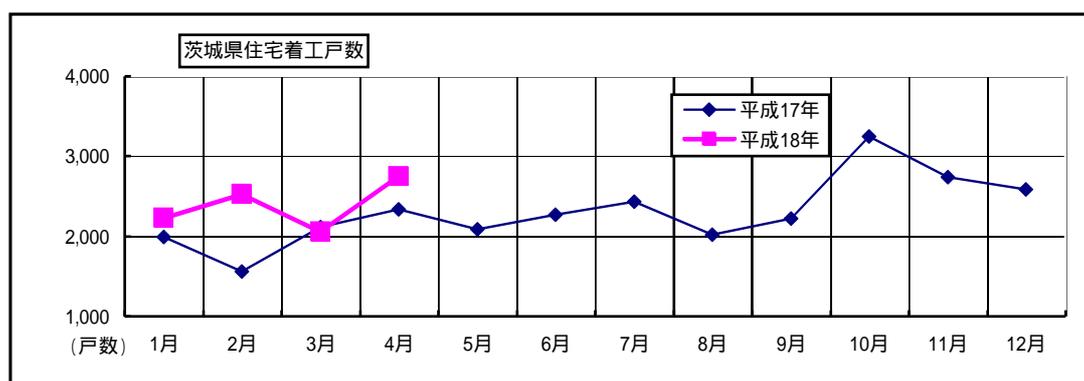
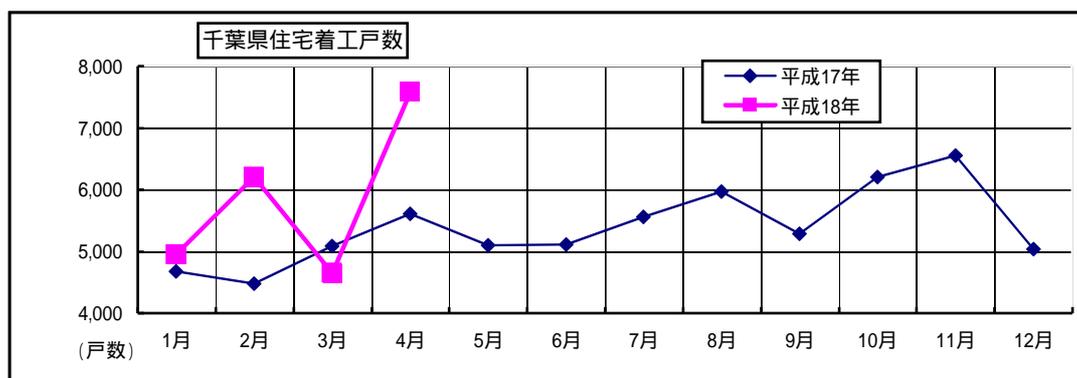
旧八日市場地域において、大型ホームセンターの影響により地元商店街の売上は低調である。

鹿島地域は大型スーパーやホームセンターの低価格競争が激しく、地元一般小売店の来店客数・売上は依然として厳しい状況である。

情報アドバイス
銚子商工会議所

建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。



公共工事の受注は依然として少なく厳しい状況が続いている。民間工事においては、住宅需要が出てきている地域が見受けられた。

観光業

銚子地区のホテル・旅館は、ゴールデンウィーク期間中の人出は前年並であり、連休中の売上はほぼ順調であった。しかし当月は団体客の減少が見受けられたところが多数あり、宿泊客は高齢夫婦の二人連れが多く、一部屋あたりの客単価が低いいため、採算面において厳しい状況である。また、燃料費の値上がりによる収益の圧迫も、依然として続いている。

銚子地区の釣り船は、アジ・ハナダイ狙いで出航し釣果は好調であったが、乗船率は低調であった。

飯岡地区の釣り船は、シロギスが最盛期を迎え、乗船率は増加傾向であった。

大多喜地区のホテル・旅館は、ゴールデンウィーク以降来客数が減少し、売上は低調であった。

情報アドバイス
銚子商工会議所

不動産業

土合地区

50区画の分譲販売（坪80千円～90千円）はほぼ完売した様子であった。うち半数以上の区画で住宅が建築中であり、住宅需要の好転が見受けられる。

旭地区

ゴールデンウィーク期間中において、住宅メーカー2社のモデルハウスが建てられた影響もあり、市内の住宅展示場を訪れる来場者が多く見受けられた。

養豚業

当月の豚枝肉相場は、平均474円/kgで、前月比+16円（前年同月比 48円）で推移した。

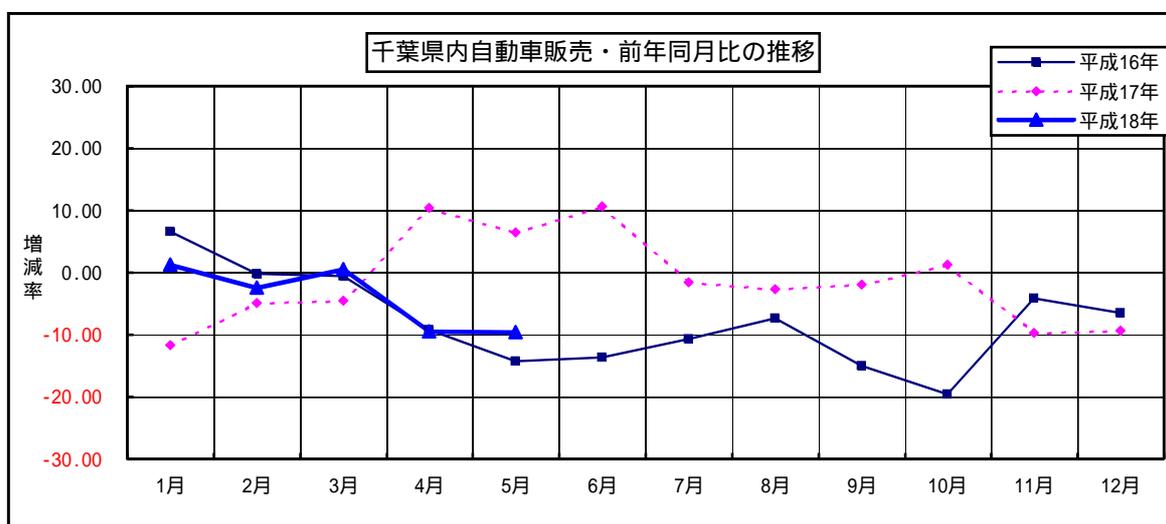
自動車ディラ

当月の千葉県内自動車販売状況は、12,126台で前年同月比9.63%の減少となった。市場別では乗用車市場とRV市場が大幅に減少し、貨物市場は微減となった。総自動車販売台数は前月から約1割程度増加し、今後のボーナス時期に期待がかかる。

千葉県内自動車販売状況（軽自動車を除く）

		当月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	4,096	3,807	107.59%	4,764	85.98%
	小型	6,111	5,323	114.80%	6,741	90.65%
	小計	10,207	9,130	111.80%	11,505	88.72%
貨物	普通	506	518	97.68%	488	103.69%
	小型	1,122	1,123	99.91%	1,190	94.29%
	小計	1,628	1,641	99.21%	1,678	97.02%
特殊等	特殊	255	254	100.39%	196	130.10%
	バス	36	69	52.17%	39	92.31%
	小計	291	323	90.09%	235	123.83%
総合計		12,126	11,094	109.30%	13,418	90.37%

千葉県自動車販売店協会調べ



情報アドバイス
千葉トヨタ自動車(株)

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.82	0.92	0.10	0.89	0.07
茂原公共職業安定所管内	0.74	0.78	0.04	0.63	0.11
大原公共職業安定所管内	0.67	0.79	0.12	0.54	0.13
成田公共職業安定所管内	0.98	1.00	0.02	0.76	0.22
佐原公共職業安定所管内	1.07	1.09	0.02	0.93	0.14
千葉県	0.91	0.90	0.01	0.85	0.06
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.86	0.91	0.05	0.93	0.07
茨城県	0.91	0.91	0.00	0.92	0.01

有効求人倍率 = 有効求人数 ÷ 有効求職者数 × 100

ハローワーク銚子/茂原/大原/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力銚子営業所管内総電力使用量	125,160	126,262	1,102
〃 (うち 動力使用量)	86,338	85,904	434

東京電力(株)成田支社調べ

倒産

当月における負債総額1,000万円以上の千葉県内企業倒産件数は23件。前月比 2 件、前年同月比+3件。負債総額は18億円となった。

負債総額10億円超の大型倒産は無かった。

業種別では23件のうち「建設業」が12件、次いで「卸売業」が3件であった。

負債額では「建設業」が9億円、次いで「サービス業・他」が4億円であった。

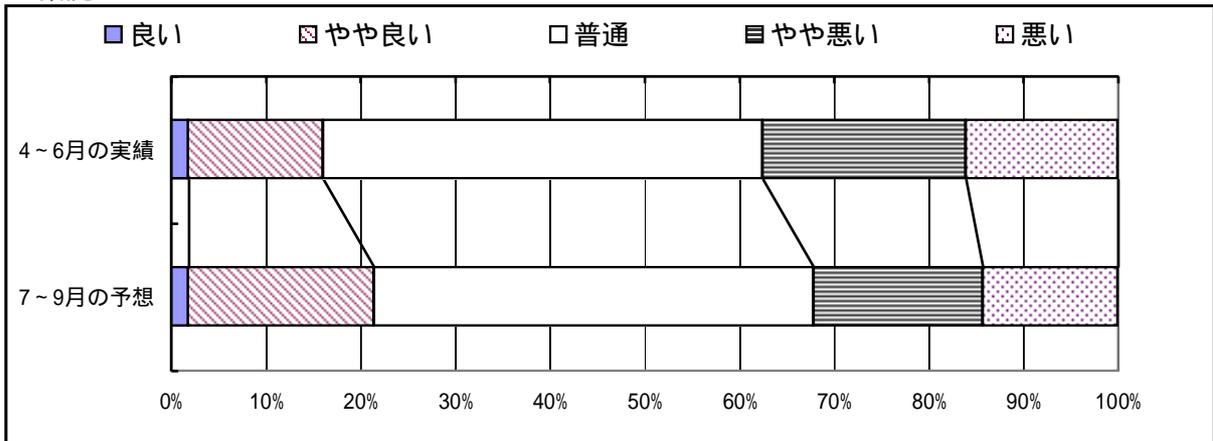
原因別では不況型倒産の典型である「業績不振」によるものが18件と大多数を占めた。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

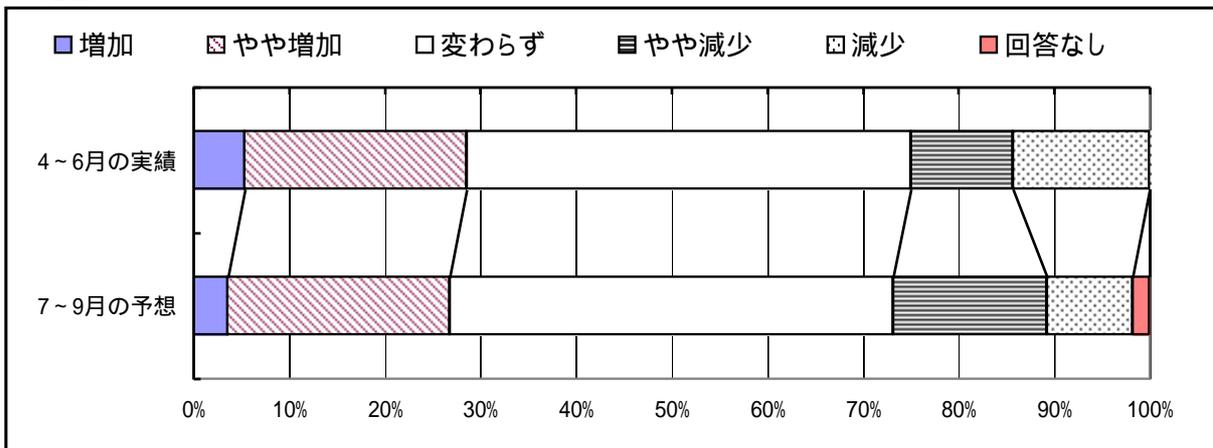
特集 第124回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。
 当金庫の対象先は営業店23店舗の顧客56先で、内訳は製造業20先、卸売業8先、小売業11先、サービス業4先、建設業9先、不動産業4先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は6月初旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

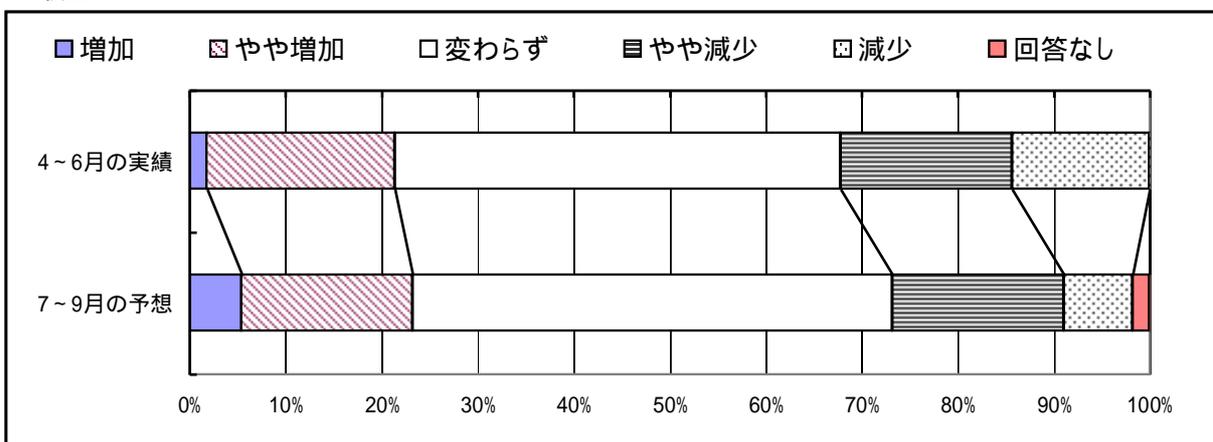
業況



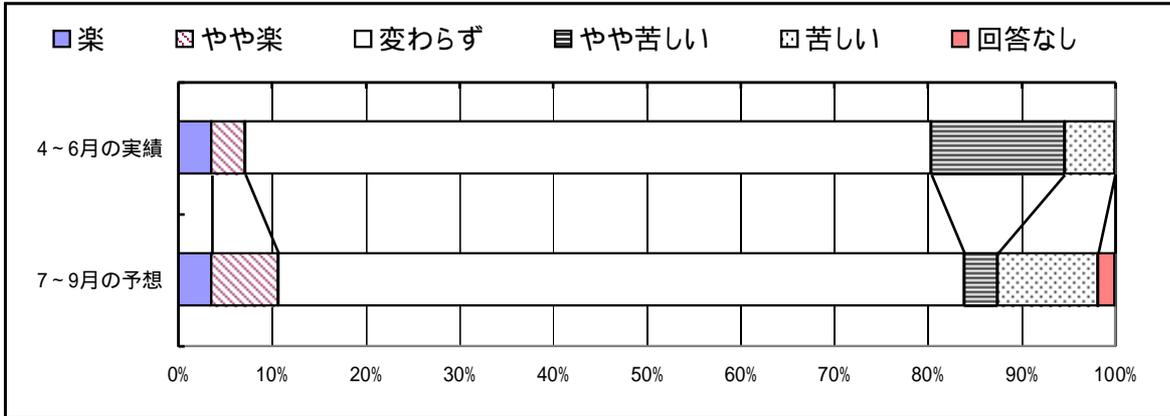
売上



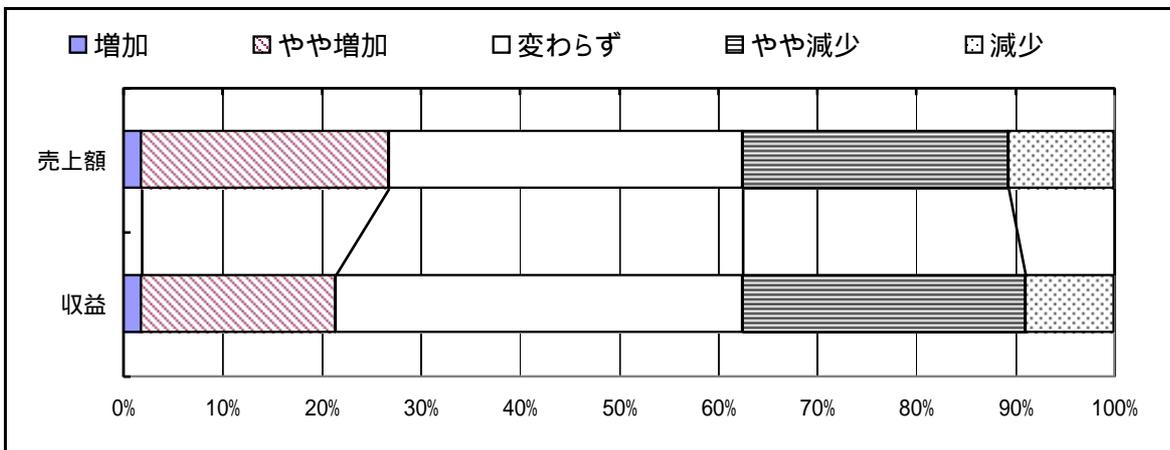
収益



資金繰り



昨年同期比の売上・収益



「経営上の問題と当面の重点経営施策」について

1) 経営上の問題点（業種別上位3項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
原材料高 工場狭少・機械の 老朽化 人手不足	売上の停滞・減少 流通経路の変化に よる競争の激化 利幅の縮小	売上の停滞・減少 商店街の集客力の 低下 大型店との競争の 激化	売上の停滞・減少 合理化の不足 人件費の増加	売上の停滞・減少 利幅の縮小 同業者間の競争の 激化	利幅の縮小 商品物件の不足 売上の停滞・減少

2) 当面の重点経営施策（業種別上位3項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
販路を広げる 経費を節減する 人材を確保する	販路を広げる 経費を節減する 人材を確保する	品揃えを改善する 売れ筋商品を取扱 う 経費を節減する	販路を広げる 経費を節減する 宣伝・広告を強化 する	販路を広げる 経費を節減する 情報力を強化する	情報力を強化する 販路を広げる 経費を節減する

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合

銚子商工会議所

株式会社 東京商工リサーチ

国土交通省 統計情報

千葉県自動車販売店協会

千葉トヨタ自動車 株式会社

ハローワーク銚子

ハローワーク茂原

ハローワーク大原

ハローワーク成田

ハローワーク佐原

ハローワーク常陸鹿嶋

東京電力 株式会社 成田支社

(順不同)

その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫

編集；営業推進部

住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5

電話；0479-25-2121

F A X；0479-24-4591

E-mail；eisui@choshi-shinkin.co.jp

U R L；<http://www.choshi-shinkin.co.jp>